

安寧天皇、

綏靖帝の子なり。

母は五十鈴依媛皇后。

綏靖帝の二十五年、

立ちて皇太子となる。

三十三年五月、

綏靖帝崩じ、

七月三日乙丑、

皇太子、

天皇の位に即く。

是を

磯城津彦玉手看天皇となす。

元年癸丑、

冬十月十一日丙申、

綏靖天皇を葬り、

皇后を尊びて

皇太后と曰ふ。

二年甲寅、  
都を片鹽に遷して、  
是を浮孔宮と謂ふ。

三年乙卯、

春正月五日壬午、

淳名底仲媛を立て、  
皇后となす。

十一年癸亥、

春正月壬戌の朔、

大日本彦耜友尊を立て、

皇太子となす。

三八年庚寅、

冬十二月六日乙卯、

天皇崩す。

年五七。

畝傍山の南御陰井上陵に葬る。  
追諡して安寧天皇と曰ふ。